

対象地域：埼玉県

再生課題：平地林の再生

くぬぎ山地区自然再生協議会

再生
目標

高度経済成長期前のかつての武蔵野の平地林のような、人との関わりによって育まれてきた多様な自然環境の再生を目指す。



- 事務局
埼玉県、川越市、所沢市、狭山市、三芳町
- 対象地域
埼玉県川越市、所沢市、狭山市、三芳町
(埼玉県南部市街地の間に位置する大規模な平地林約152ha)
- 協議会 : H16. 11. 6 設立
- 全体構想 : H17. 3. 12 策定
- 実施計画 : 協議中

(R7. 3現在)



くぬぎ山は、首都圏30km圏内にあり、武蔵野の美しい里山景観の面影を現在に伝える大規模な緑地空間です。

しかし、近年里山における農業的な利用の減少、都市化に伴う土地改変、廃棄物処理施設の乱立など、里山林の適正な管理や周辺環境の悪化が課題となっています。

このことから、①平地林の荒廃を抑制し、豊かな緑と生物の多様性を維持する②平地林の改変を抑制し、武蔵野の風景を将来世代に引き継ぐ③改変施設の移転誘導を計画的に進め、改変地を復元し、良好な平地林を再生する④利活用を図り平地林の新たな価値を創造する、ための取組を進めています。

自然再生の手法

- 廃棄物処理施設の撤去
- 実生や根株の移植などによる植生の復元
- 荒廃雑木林の整備



くぬぎ山を上空から望む



保安全管理活動



保安全管理活動